

第1章 自分フィルターで楽しむ！

いつも見ている日常の中に、もうひとつの景色を見つけてみませんか？
ちょっと視点を変えて眺めれば、新しい景色が見えてきます。見つけた景色に心はワクワク冒険気分。もっと知りたい、気分を変えたい、私らしさを探したい、それが自分フィルター。フィルターの数だけ、いつもの景色が無限大に広がります。さあ、自分フィルターをセットして、身近なものにフォーカスイン！そこにはどんなストーリーが隠れているのでしょうか。発見は、あなたの生活を楽しく彩りあるものに変えてくれます。今回は、器の中、自分の庭、そして好きな場所に見つけたストーリーをご紹介します。

日常の中に、自分のストーリーを見つける。

[春、テーブルの上も春景色]	Akiko Ishiko
[初夏、薔薇の色香を堪能する]	Akiko Ishiko
[秋、和の美しさが映える時]	Akiko Ishiko
[冬、優しさが必要な時]	Akiko Ishiko
[庭の木がお気に入り 野鳥キジバト]	Kyoko Hosoda
[胸に黒いネクタイ模様 シジウカラ]	Kyoko Hosoda
[ノラでも癒される不思議な魅力 猫]	Kyoko Hosoda
[害虫ハンター カマキリ]	Kyoko Hosoda
[図書館と雑誌の世界]	Okachimachi
[図書館と案内文の世界]	Okachimachi

[図書館と器械の世界]

Okachimachi

[Tokyo Metropolitan Tama Library]

Okachimachi

春、テーブルの上も春景色

蝶が舞う先は何色の花が待っているのかしら？平安時代までは「蝶」を和歌に詠むことは極めて少なかったそう、なぜかしら・・・。



初夏、薔薇の色香を堪能する

待ちわびた薔薇の開花は感動的、注いだ愛情が深ければなおのこと。平安の人々が愛でた薔薇は、中国の原産の紅色の庚申薔薇。



秋、和の美しさが映える時

道端に飾らずに咲く野菊の美しさに気づけたとき、うれしかった。平安時代、人々は白菊が紫に変色する様を愛でたそう。



秋をおきて

時こそ有りけれ 菊の花

うつろふからに

色のまされば

平貞文(古今和歌集)

冬、優しさが必要な時

寒い時は優しさで大切な人を温めて。大事に思う心は必ず届くもの。歌を詠み、思いを素直に伝える万葉人がうらやましい。



庭の木がお気に入り 野鳥キジバト

見つめていると「ん？ 何ですか〜？」と言いたげに首をかしげた。つがいは仲が良くデーデポッポの鳴き声やトコトコ歩きが愛らしい。



胸に黒いネクタイ模様 シジュウカラ

言語能力があるという鳴き声、ひまわりの種子を食べるために両足で押さえてコツコツくちばしで連打する音。聞こえるだけで楽しい。



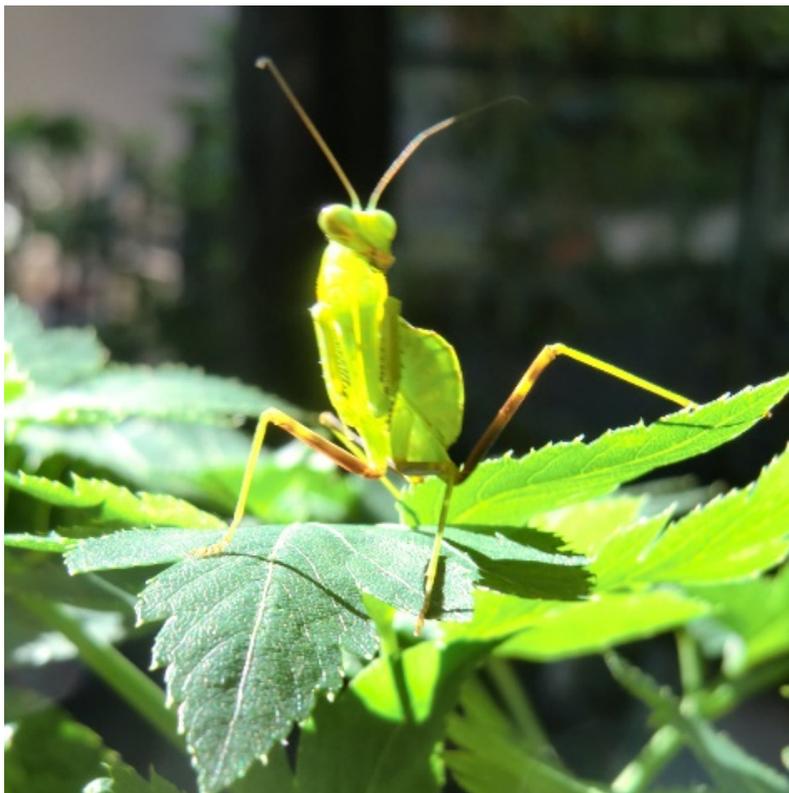
ノラでも癒される不思議な魅力 猫

逃げられても懲りずに庭の野鳥に近づく。いつもの塀の上散歩の後は物置の上で長時間お昼寝。目覚めたら念入りに毛づくろい。



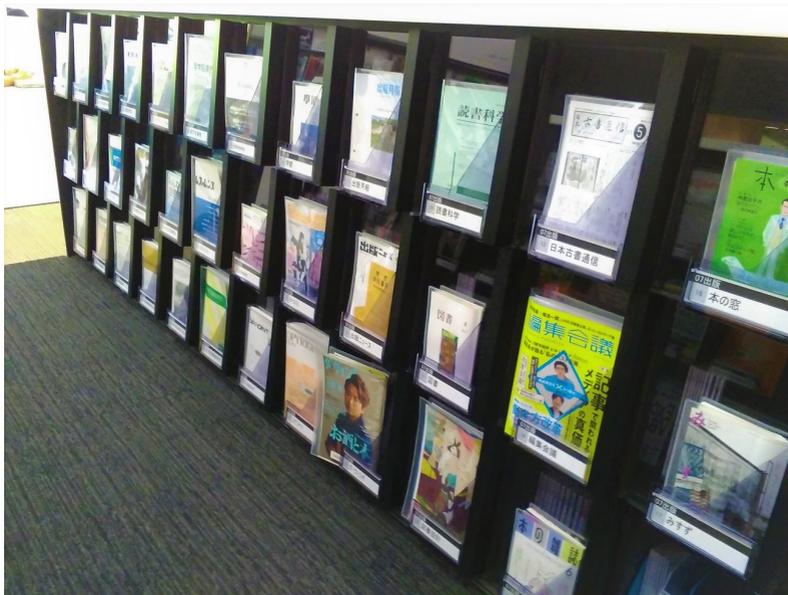
害虫ハンター カマキリ

夏、庭で花が咲き野菜が育つ。現われる虫は千差万別で面白い。植物の天敵を捕食してくれる大きなカマの持ち主の活躍を応援したい



図書館と雑誌の世界

雑誌・雑誌・雑誌 コンビニに並ぶ雑誌から普段目にしない業界専門誌まで奥深い雑誌の数々。



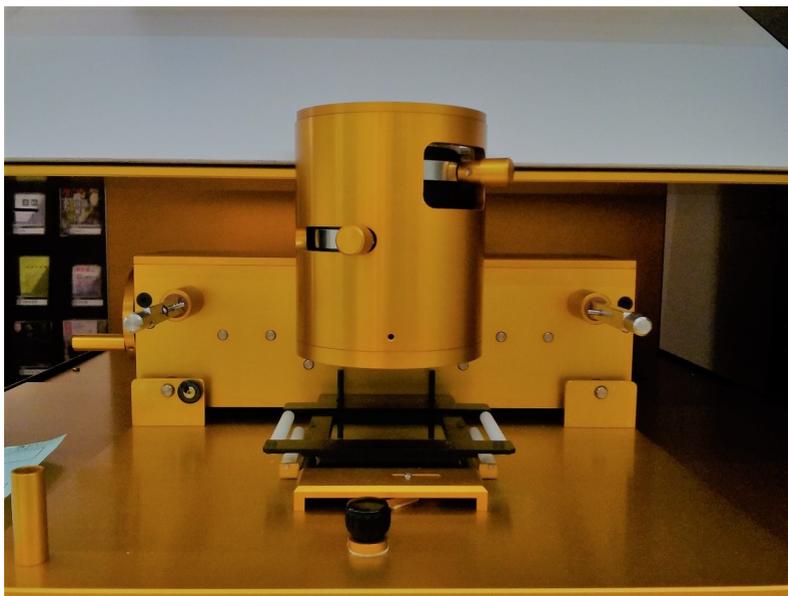
図書館と案内文の世界

透明でも、見える人には見える。



図書館と器械の世界

デジタルの世の中、きれいな器械でのロマン溢れるアナログ作業。



Tokyo Metropolitan Tama Library

図書館からの帰り、気づかなかった看板が見送りしてくれた。

